

2北広監第19号
令和2年11月26日

写

北信広域連合長 湯本 隆英 様

北信広域連合代表監査委員 齋藤 保

北信広域連合監査委員 山本 光俊

令和2年度北信広域連合定期監査の結果について（報告）

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第4項の規定により実施した令和2年度定期監査の結果について、同条第9項の規定により別記のとおり報告します。

令和2年度北信広域連合定期監査報告書

- 1 監査の日時 令和2年11月17日（火） 午前10時から午後4時15分
令和2年11月18日（水） 午前10時から午後0時
- 2 監査の場所 中野市豊田支所 第1会議室
- 3 監査の対象
 - (1) 期間 令和2年4月1日から令和2年9月30日まで
 - (2) 区分 令和2年度北信広域連合一般会計
 - 〃 北信広域連合特別養護老人ホーム望岳荘
 - 〃 北信広域連合養護老人ホーム高社寮
 - 〃 北信広域連合養護老人ホーム千曲荘
 - 〃 北信広域連合特別養護老人ホーム千曲荘
 - 〃 北信広域連合特別養護老人ホームいで湯の里
 - 〃 北信広域連合特別養護老人ホーム菜の花苑
 - 〃 北信広域連合特別養護老人ホームふるさと苑
 - (3) 調書 各会計に係る会計現計表、予算執行状況、委託料調、賃貸借料調、工事請負費調、負担金交付金調、補助金調、備品調及び修繕料調並びに財政調整基金及び特定目的基金調及び広域連合債等明細書

4 監査の方法

定期監査に当たっては、令和2年9月末日における事務事業の執行（進捗）状況及び財務に関する事務について、あらかじめ提出された監査資料に基づき、関係職員から説明を聴取し、関係法令並びに議決予算の趣旨に添って適正かつ効率的に予算執行が行われているかを主眼に、予算（歳入・歳出）の執行状況、委託事務、工事請負状況、物品の取得管理、その他の事務について監査を実施した。

5 監査の結果

監査に付された9月までの各会計歳入歳出予算執行状況、附属書類等、財務処理の監査を執行したが、いずれも適正に処理され、関係書類の整備は良好であることを確認した。

(1) 全体概要

令和2年度一般会計及び特別会計歳入歳出予算の執行状況は、収入済額1,616,622,238円（執行率35.8%）、支出済額1,684,696,962円（執行率37.4%）で、差引△68,074,724円となっている。

一般会計では、収入済額 829,462,379円（執行率38.6%）、支出済額 811,614,786円（執行率37.7%）で、差引17,847,593円となっている。

養護老人ホーム事業特別会計及び特別養護老人ホーム事業特別会計では、収入済額 787,159,859円（執行率33.4%）、支出済額 873,082,176円（執行率37.0%）で、差引△85,922,317円となっている。

(2) 監査委員意見

① 予算の執行状況については例年並みであるが、各施設における修繕・工事請負・備品購入の執行にばらつきが見られる。利用者をはじめ、関係者の利便性に直結するため、予算計上されている案件については、発注時期とその必要性について再度確認をしながら、早期執行に努められたい。

② 未収金について一定の確約により回収されているが、より一層の早期回収が図られると共に、新たな未収金が発生しないよう努められたい。

③ 施設全体では、新型コロナウイルスの感染拡大の中にあつて、施設利用率は前年同期と同じであるが、今後の状況によっては利用率の低下が危惧される。施設職員の業務量の増加が懸念されるが、利用率の向上と施設内発症の未然防止に万全を期すよう、一層の取り組みを望みます。

また、各施設とも地産地消を念頭に組み組んでおり、今後も地域に根付いた施設としてさらなる取り組みとPRに努められたい。

④ 委託料について、事務局一括契約が多くあるが、施設ごとの契約において同一業者が多く見受けられるため、条件は異なるがこれらの一括契約についても検討されたい。

また、委託・請負業務については、発注内容と完成内容とを精査確認し、必要に応じて改善に努められたい。

⑤ 老人ホームてるさとの開所に向け、事務事業の確認と見直し、関係備品の再確認等補正予算の対応と早期発注に努められたい。

また、新年度予算編成に当たっては、従来慣行にとらわれることなく、施設間及び職員間の情報共有と創意工夫により、利用者の利便性や経費の削減について検討して編成されることを望みます。